



中学生による合唱などで合併10周年を祝う出席者

# 奥州市10周年 発展誓う

新市誕生  
記念式典

奥州市誕生10周年記念式典（市主催）は新市が発足した20日、同市水沢区の市文化会館で行われ、市民一体で歴史と文化を育んでいくことを誓った。

約700人が出席。

奥州市民Z管弦楽団の演奏で、12中学校の生徒64人が「奥州市民のうた」を合唱した。前沢小の児童7人が市民憲章を読み上げ、全員で唱和した。

小沢昌記市長は「自

治と協働のまちの実現へ手を携え、次の10年を力強く歩んでいきたいと思います」とあいさつ。まちづくりの推進に貢献した9個人・団体を表彰した。

沼町の戸川雅光町長、同厚真町の宮坂尚市朗町長らが祝辞を述べた。国際姉妹都市であるオーストラリアのグレートシエパトン市、オーストリアのロイテ、ブライテンヴァ

ング両市からのビデオメッセージも披露された。拓殖大の渡辺利夫前総長が、水沢区出身の政治家後藤新平について講演した。

奥州市は2006年2月20日、水沢、江刺、前沢、胆沢、衣川の5市町村が合併して発足した。